

工学部の学習・教育目標について

科学技術の進歩は人類に豊かな生活とグローバルな物の流通と人の交流をもたらしましたが、その反面 CO₂ ガスの放出による地球温暖化現象など地球環境の破壊が大きな問題となっています。

工学部では材料科学科、機械システム工学科、電子システム工学科の3学科において「ものづくり」を通じて地球環境を破壊しないで自然と共生できるより豊かな社会、より暮らしやすい社会の構築に向けて、我が国および地域の産業のリーダーになれる技術者、また世界的な視野をもって社会に貢献できる各専門分野の技術者の育成を目指しています。そのための学習・教育目標として次の事項を掲げています。

- 1) 人間社会の深い理解と豊かな人間性を身につけるとともに、科学技術が自然環境に与える影響を理解する。
- 2) 工学の幅広い基礎知識の習得とそれを基礎として工業技術の高度化、先端化、複合化に対応できる専門知識と先端技術を身につけ、課題を解決する応用力を養う。
- 3) 明確な目的意識を持たせ、自主的な学習姿勢と独創的な思考力を習得させる。そのため実験、実習、演習を重視した実践教育を行う。
- 4) 世界的立場から工学を眺めることができる広い視野と、環境問題に配慮した新しい技術を創出できる豊かな創造力を養う。
- 5) 日本語による論理的な記述、表現の力を身につけるとともに、学際的な交流ができ、国際的に活躍できるコミュニケーション能力を身につける。
- 6) 技術者として目的意識を持ち、自主的、計画的に仕事を進める能力を身につける。

これらの学習・教育目標を達成するために、各学科ではそれぞれ学科の学習・教育目標を設定するとともに、各学科のカリキュラムについて日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を目指しています。